令和8年度第1回伊賀・山城南・東大和定住自立圏推進協議会　議事概要

開催日時	令和8年8月 10 日(月)10:00～11:00
開催場所	伊賀市役所4階　庁議室
出席者	【伊賀市】 　稲森　稔尚（市長） 【笠置町】 　山本　篤志(町長) 【南山城村】 　平沼　和彦(村長) 【山添村】 　野村　栄作(村長) 【名張市】 　北川　裕之(市長) 【事務局】 伊賀市未来政策部　風隼政策調整統括参与兼部長、松山次長兼政策調整監、未来政策課　竹森課長、森林係長、藤山副主任 笠置町希望のまち推進課　小林　課長、辻井　課長補佐、永田　主任 南山城村企画政策課　橋本課長、廣岡　課長補佐 山添村総務課　椋本課長、井上課長補佐 名張市なばりの未来創造部総合企画政策室　総合企画政策室　古里係長、栗林主任
会議概要	**1. 開会** 　ただいまから、令和8年度第1回伊賀・山城南・東大和定住自立圏推進協議会を始めさせていただく。 ★会議及び議事録公開の確認 　本日の会議は、会議を公開し会議の傍聴を認めている。本日の会議を傍聴される方、報道関係者の撮影等について、ご了解、ご理解をお願いする。また、会議録についても公開させていただく。
	2. あいさつ ― 稲森会長　あいさつ ―
	3. 議事 **(1)副会長の選任について** (会長) 　当協議会の副会長については推進協議会規約第7条の規定により、「副会長は毎年度最初の会議で会長が指名する委員をもって充てる」ということになっているので、本年度は「山本笠置町長」に副会長に就任をいただきたいと思うが、よろ

	しいか。 ― 異議なし ― （会長） では、一年間よろしくお願いいたしたい。 **（2）令和7年度の主な取組及び令和8年度の主な取組について** ― 事務局 【資料1】 令和7年度取組・令和8年度取組 により説明 ― （委員） 人材育成・交流について、職員合同研修の具体的な内容を教えていただきたい。若手職員が集まる機会があるのであれば、圏域の 10 年 20 年先を見据えたあり方や未来を語る場を設置できればよいと思う。 ＜事務局＞ 職員合同研修では、圏域の 10 年 20 年先を見据えたあり方や未来を語る内容のものは行っていない。障がい福祉や行政改革などの実務的な研修を実施した。 （委員） 提案なので、幹事会や各部会で議論を深めていただけると有難い。 （委員） 先日の熊本地震もあったことから、防災の取組で、2つ検討してはどうか。1つは避難所の相互利用で、例えば名張市の避難所が使えない時に、山添村の避難所を一時的に使うなどができないかと思う。もう1つは、防災備蓄 BOX（ガーディアン 72）で、町村は加入している。市は規模が大きいので難しい点もあるかもしれないが、導入を検討いただければと思う。 産業振興の取組で、伊賀市、名張市ともにオーガニックに取り組んでいる。これは提案だが、販路の拡大や生産量の増加を共に進めることで有意義な活動になると思う。重点的な取組に入れていただけると有難い。 ＜事務局＞ 次の事項「第3期共生ビジョン素案」の取組にあるので、そこで改めて説明させていただく。 **（3）第3期共生ビジョン素案について** ― 事務局 【資料 2-1】 概要 【資料 2-2】 共生ビジョン素案 参考資料2 第2期共生ビジョン_施策 KPI 一覧 により説明 ―

	（委員） 　公共交通の取組について、村タクの運行エリアを、是非、伊賀市内の病院やスーパーまで拡大していただけると有難い。 　ふるさと納税について、村の特産品はあるが、圏域でコラボ返礼品ができればよいと思う。 　技術職員が不足し、困っている。以前は、伊賀市に土木を専門に学ぶ学科があったが現在は無い。技術職員の確保について具体策の検討が急務だと考える。 　健康・福祉について、令和9年3月に南山城村で特別養護老人ホームを開設予定。入所70床、デイサービス10床まで利用でき、現在職員を募集している。圏域の方にも利用いただきたい。 （会長） 　公共交通の相互乗り入れは、双方の自治体にとって大きいメリットがある。色々な規制はあると思うが、出来ることはしっかり考えていく必要がある。 　技術系・福祉分野の人材確保は、どこの自治体でも深刻な課題だと思うので、一緒に対策を考えていきたい。 　特別養護老人ホームやデイサービスの需要やニーズも見極めて、圏域内での利用促進も考えていきたい。 ＜事務局＞ 　ふるさと納税等の取組について、共生ビジョン素案 38pに記載のとおり、これまでも部会で検討をしており、引き続き検討していく。 　専門人材の確保について、どの自治体も人材不足問題に直面していると感じる。素案 41pの事業にも挙げているので、今後も取組を進めていく。 （副会長） 　保育園同士の交流等も含め、こどもから大人までもっと交流を深め、この圏域の魅力を知ってほしい。 （委員） 　防災について、名張市では残念ながら体育館の空調設置が進んでいない。財政事情的にも叶わない状況。他地域の空調設置の進捗状況等教えていただきたい。避難所の遠方への移動は本来望まれないが、酷暑での避難生活となるとそうも言っていられない事もある。避難所の相互利用ができれば有難い。 　公共施設の集約化・共同利用等について、人口減少が進む中で今まで通り全ての施設を維持し続けていくのは厳しい。今直ぐにという話ではないが、極論でいうと、例えばスポーツ施設であれば、伊賀市はサッカー場を残して、名張市は野球

	場を残すというような、これから先の形としてはあり得るのではないかと思う。そういった思い切った議論もしていただけると有難い。 名張市民にとって、残念ながら「伊賀地域」「伊賀城和」という認識が薄い。昔から連綿と繋がってきた歴史があり、名張も当然伊賀地域なので、歴史文化的な講演会、体験学習の機会を増やし、意識醸成を図っていきたいのでご協力願いたい。 （会長） ヒルホテルサンピア伊賀を運営する株式会社伊賀と災害時応援協定を締結した。宿泊施設などの民間企業との協力体制を整えておくことは重要と考えている。 体育館の空調整備率について、名張市、伊賀市も0%、三重県全体では 15%となっている。伊賀市では、来年の夏までに5校整備することを目指して進めていきたい。 公共施設の相互利用は重要であると思っている。伊賀市の新しい図書館も、圏域の皆さんに是非ご利用いただきたい。斎苑の利用については、2020 年に定住自立圏料金を設定したが、名張市は未だ設定されていないので、是非名張市もしっかり検討していただけると有難い。 ＜事務局＞ 公共施設の相互利用の拡充については、素案 39pにあるとおり、当圏域においてどのようなあり方が有効かを検討していく。 生涯学習については、圏域の一体感を醸成するため、素案 26pにあるとおり、引き続き、伝統文化や歴史等の事業を実施していく。 （委員） 伊賀市長の斎苑の話は、大変有難い。圏域住民が平等に利用できるようにこれからも話を進めていただきたい。 素案 18pの広域幹線道路等の整備促進について、市町村道についても圏域で一緒になって国に要望していくことはできないか、提案させていただく。 素案 16pの広域観光事業について、山添村と名張市は「ENN（東奈良名張ツーリズム・マーケティング）」で、フィリピンを対象とするインバウンド誘致の取り組みをしており、かなり成果がある。そのノウハウを圏域で共有し、連携できたらよいと思う。 連携構造のイメージについて、南山城村、笠置町、山添村間のつながりも意識した連携にしてはどうか、提案させていただく。

	（会長） 　連携町村間のつながりも意識した連携にというご意見、参考にさせていただく。 ＜事務局＞ 　広域幹線道路等の整備促進について、素案37pの事業概要では、市町村道の要望は含まれていないので、部会へ伝え、検討していく。 （委員） 　斎苑の利用料について、圏域の中でどうしていくかということは名張市として課題なので、今後しっかりと検討させていただきたい。 （会長） 　それでは、推進協議会として、第3期共生ビジョンの素案について、ご承認をいただけるということでよろしいか。 （全委員） はい。 （会長） 　ご承認いただいたので、この素案を中間案として、8月 21 日に開催される共生ビジョン懇談会で協議いただく。 4. その他 ＜事務局＞ 　議事以外の部分で、会議全体を通して、何かご質問、ご意見等がございましたらお願いいたしたい。 ― 意見等なし ― では、これで本日の会議を終了させていただきます。どうもありがとうございました。